

平林城跡(山城跡)の見どころはここだ!



首切り清水：要害山中腹の絶えず水が湧き出ているところです。「罪人の処刑場」という伝承が名前の由来です。



要害山(加護山)
標高281m。山頂には、曲輪や堀切などの多数の遺構が残っています。一段高いところ(主曲輪)には、望楼があったかもしれません。



黒川中条方面



荒川河口方面



村上城方面

物見山：敵を監視する曲輪といわれる重要な場所です。まわりには幅の狭い帯曲輪が何段もあります。上の写真は、物見山から見下ろせる風景です。



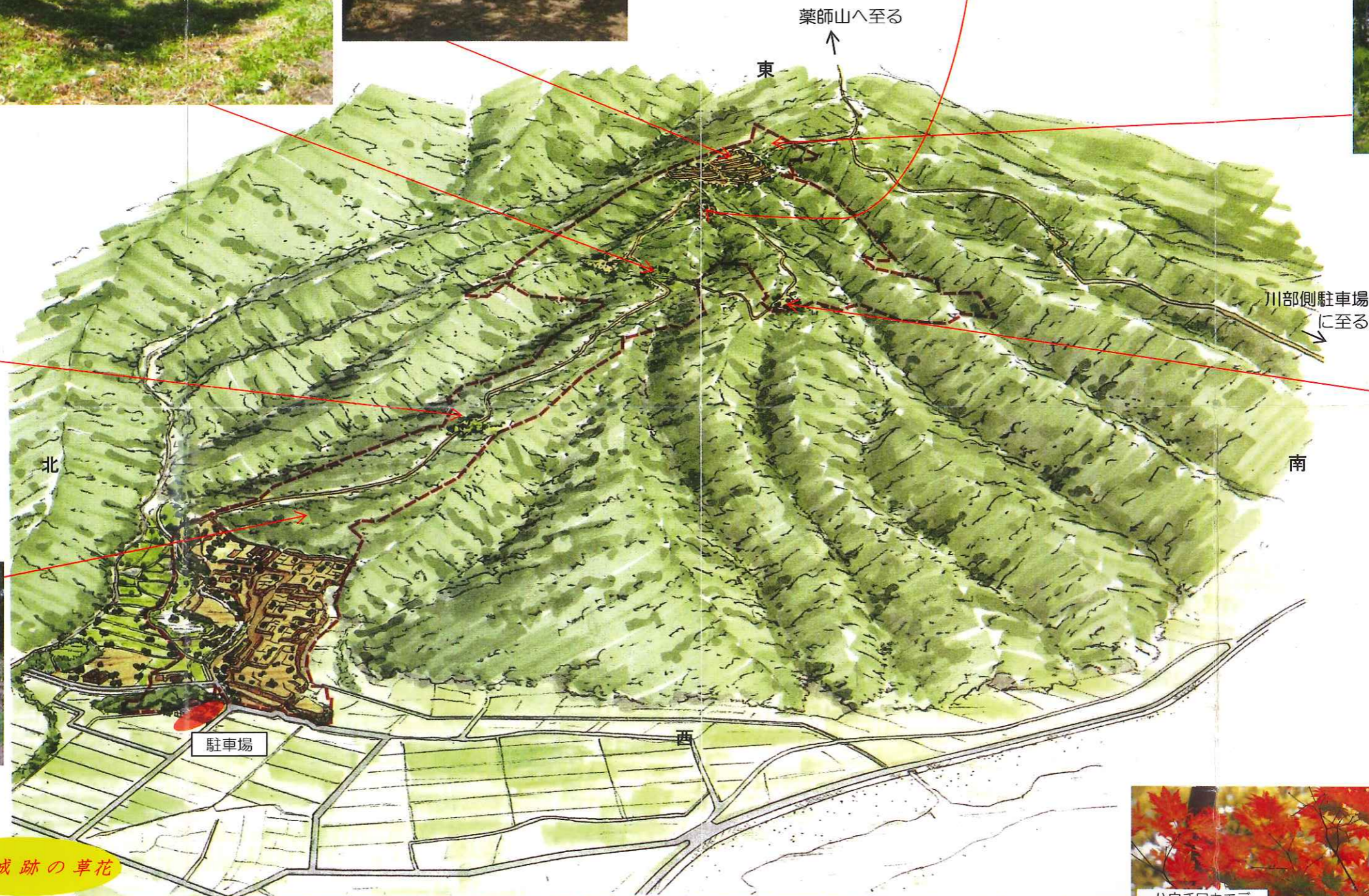
館岩：直径数メートルもの巨大な天然岩がむき出しになっています。



馬洗い場：以前は水田(長辺田)になっていたようです。殿屋敷とは古道でつながっています。



城戸跡：館から山城へむかう時の最初の曲輪で、門があったと考えられます。



のろし山から山頂をのぞむ

史跡指定地

用語解説

山城：山に築かれた城。
 要害(山)：地形が険しく守るのに便利なところ。普段は平地の居館に住み、戦時に要害の山にこもった。
 曲輪：城の一区画。中世山城では傾斜地を削って造り出す。
 帯曲輪：帯状の細長い曲輪で、斜面に造られることが多い。
 堀切：敵の攻撃を阻止するために、山の尾根・峰を何条かに切った(掘った)もの。
 城戸：木戸とも書く。中世のお城の出入り口のこと。近世の城門よりも造りが簡素なもの。
 遺構：人が土地を掘ったり、盛ったりして造った不動産的な痕跡。土塁、堀や建物跡など。対して、動産的な土器や石器は「遺物」という。

平林城跡の草花



カスミザクラ



ショウジョウバカマ



ユキツバキ



ヒメコブシ



クルマユリ



ヤマユリ



ハウチワカエデ



ヤマモミジ